

# 売れる米づくり技術情報No.3

～なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい～

令和8年5月21日  
J A え ち ご 中 越  
なんかん南営農センター

## 適期中干し・溝切り実施で品質向上！

**!** 5月～7月の3ヶ月予報によると、暖かい空気に覆われやすく、気温は高いでしょう。降水量はほぼ平年並みで推移する予報ですが、暖かくなるとワキや藻類の発生が多くなりますので、前年発生ほ場では重点的な対策を講じましょう。

遅れずに中干しを開始して、莖数過剰や多雨による莖質低下・長草化を防ぎましょう。

⇒圃場で莖数を確認して、適期中干し・溝切りを実施しましょう！

⇒ワキ対策として夜干し等でガス抜きを行い適正な生育量確保！

### 1. 中干し前にワキの発生を抑制して、生育停滞を防止しましょう！

- ワキの発生が多いと根を傷め、生育が停滞して莖数が増えにくくなります。ワキが発生する場合は「降雨時の水の更新」や、「夜干し」によりガス抜きしましょう。
- 夜干しは風の少ない日の夕方から朝に実施し、発生が多い場合は2日連続で行いましょう。

【ワキ対策にオススメの資材】鉄分の補給で初期生育を促進！

#### 田んぼの鉄人（土壌改良資材） 15kg 規格

水質を浄化し、藻・表層剥離やワキの抑制に効果的です。水溶性の鉄 17%を含むため、鉄不足の圃場の秋落ち・ごま葉枯れ病対策としてもおすすめです。

■施用方法：藻やワキの発生か所に 1a あたり 2～3kg を手または動力散布機でスポット処理する

### 2. 中干しは圃場で莖数を確認し、遅れずに行いましょう！

#### (1) 中干しの開始時期

- 移植後 25 日をめやすに必ず圃場で莖数\*を確認  
※2枚以上葉のついた莖を数え、莖数とします
- 遅くとも移植後 30 日までは中干しを開始する
- コシヒカリは目標穂数の 70%、こしいぶきは 80%を確保したら開始する（直播栽培は目標穂数の 70%）



中干し開始適期の圃場

条間が奥までスッキリ見通せる！

【中干し開始時期のめやす】

品 種	目標穂数 (本/㎡)	開始めやすの莖数				葉数 (枚)
		50 株植(本/株)	60 株植(本/株)	直播(本/m)	㎡あたり本数	
コシヒカリ	350	16	13	77	250	7
こしいぶき	400	21	18	85	320	
ゆきん子舞	420	-	19	-	336	
つきあかり	385	-	16	-	304	
あきだわら	340	-	15	-	272	
こがねもち	370	-	16	-	300	
わたぼうし	350	-	15	-	280	
新之助	400	18	15	-	280	

### ○ 中干しは早期に開始することで、目標どおりの生育調節が可能です！

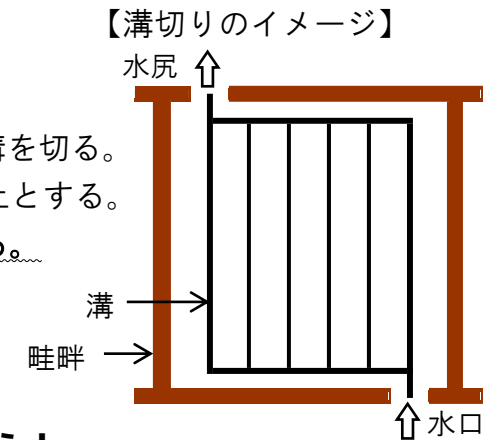
中干し開始時期と収量構成要素・乳心白粒（佐渡農技センター）

中干し開始時期 標準日差	目標穂数比	稈長 (cm)	穂数 (本/㎡)	㎡当たり粗数 (粒)	千粒重 (g)	精玄米重 (kg/10a)	乳心白粒 (%)
早期(-10日)	42%	93.0	378	26,600	22.2	517	4.7
標準(±0日)	85%	96.3	410	28,800	21.8	500	8.9
遅期(+10日)	143%	97.5	427	30,000	22.2	529	11.7

目標穂数 40%程度の早期中干しでも標準的な開始の場合と収量に差はありません。逆に、遅い中干しは、乳心白粒が増え、品質の大幅な低下につながります。

### (2) 溝切りの方法

- ① 落水し、2～3日地固めをする。
- ② 作業時は機械が動く程度に入水し、周囲に溝を切る。
- ③ 溝の間隔は8～10条おき、深さは10cm以上とする。
- ④ 溝と溝を連結し、必ず水口と水尻につなげる。
- ⑤ 作業が終了したら落水する。



【溝切りのイメージ】

溝切りは中干しとセットで必ず行いましょう！

### (3) 中干しの強度と終了時期

～本格的な梅雨入り前までに始めましょう！～

- **適正強度： 田面に小ヒビが入り、歩くと足跡が付く程度**
- **終了時期： 遅くとも出穂 1 か月前までに終了**

◎大ヒビが入るような強すぎる中干しや中干し終了の遅れは、上根が傷んで根域が狭くなるため、幼穂形成期以降の葉色低下を招き、高温年は基部未熟粒の増加につながります。

◎大豆跡や生育過剰になりやすい圃場は強めの中干しを心がけましょう。

⇒早めに落水し、小ヒビが入ってから数日干す。

#### 中干しの効果

- ① 過剰な分けつの発生を抑え、粗数を適正にして玄米の充実を良くする。
- ② 下位節間の伸長を抑え、倒伏を軽減する。
- ③ 梅雨入り前に地固めすることで、収穫時の機械作業が可能になる。
- ④ 根に酸素が供給されて根が下方方向にも発達し、根域が広がる。穂肥や土づくり肥料をしっかり吸収できる、健全な根をつくる。

#### 溝切りの効果

- ① 中干しの効果を高める。
- ② 異常高温やフェーン発生など緊急時の迅速なかん水や、秋の長雨による停滞水の排水が容易になる。

### 3. 中干し後の急な湛水は根腐れを起こすので、浅水の「間断かん水」で根への酸素供給を行いましょう！

- 穂肥施用からは「飽水管理」へ移行し、土壤水分を十分に確保しましょう。

**間断かん水**…湛水状態と落水状態を数日間隔で繰り返す（2日湛水、3日落水が基本）。  
**飽水管理**…田面の高い部分が湛水するまで入水し、溝や足跡に水が散見される程度まで自然に減水したら、再び水深3～5cm入水する。

### 4. 葉いもち防除を徹底しましょう！【弱耐性品種は要防除！】

#### （1）本田で予防粒剤の散布による防除が必要な場合

- わたぼうし、新之助などいもち病に弱い品種を作付した場合や、いもち病多発地域、多収性品種の多肥栽培で箱施用剤未施用の場合は、6月10日頃までに本田で予防粒剤を散布しましょう。
- 耐性菌が確認されたQol剤は使用せず、他の剤を選択しましょう。  
 【Qol剤の例】水面施用剤：イモチエース・オリブライト、茎葉処理剤：アミスター

#### 【いもち予防防除にオススメの水面施用剤】

<b>オリゼメート粒剤</b>	<b>1袋 3kg 成分カウント：1回</b>	<b>葉いもち防除にオススメ！</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■適用病害：いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病</li> <li>■使用時期：葉いもちには初発の10日前～初発時</li> <li>■使用量：10aあたり3～4kg（使用回数 2回以内）</li> </ul>		
<b>フジワン粒剤</b>	<b>1袋 3kg 成分カウント：1回</b>	<b>穂いもち防除に効果大</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■適用病害：いもち病（葉いもち・穂いもち）、稲こうじ病</li> <li>■使用時期：葉いもちには初発7～10日前 穂いもちには出穂10～30日前（収穫30日前まで）</li> <li>■使用量：10aあたり3～5kg（使用回数 2回以内）<u>湛水散布</u></li> </ul>		

農業登録状況確認日 令和8年5月20日

#### （2）圃場の補植用置き苗は補植終了後直ちに除去する

補植用の置き苗はいもち病が発生しやすく、放置すると葉いもちの伝染源となります。発病した補植苗から700m離れた圃場からも低密度ながら病斑が確認される場合もあります。周りの圃場への伝染を防ぐため早めに除去しましょう。



### 5. 斑点米カメムシ類を防ぐため、草刈り等の雑草管理に努めましょう！

カメムシ類を防ぐには、稲の生育期間を通して雑草の穂が出穂しないよう管理することが大切です。特にイネ科雑草、水田内のイヌホタルイは産卵場所であり、種子(穂)はエサでもあるため特に注意しましょう。

**草刈り4つの効果**

- ① エサをなくす
- ② すみをなくす
- ③ 産卵場所をなくす
- ④ 薬剤をかかりやすくする

#### 【効果的な畦畔・農道等の雑草管理】

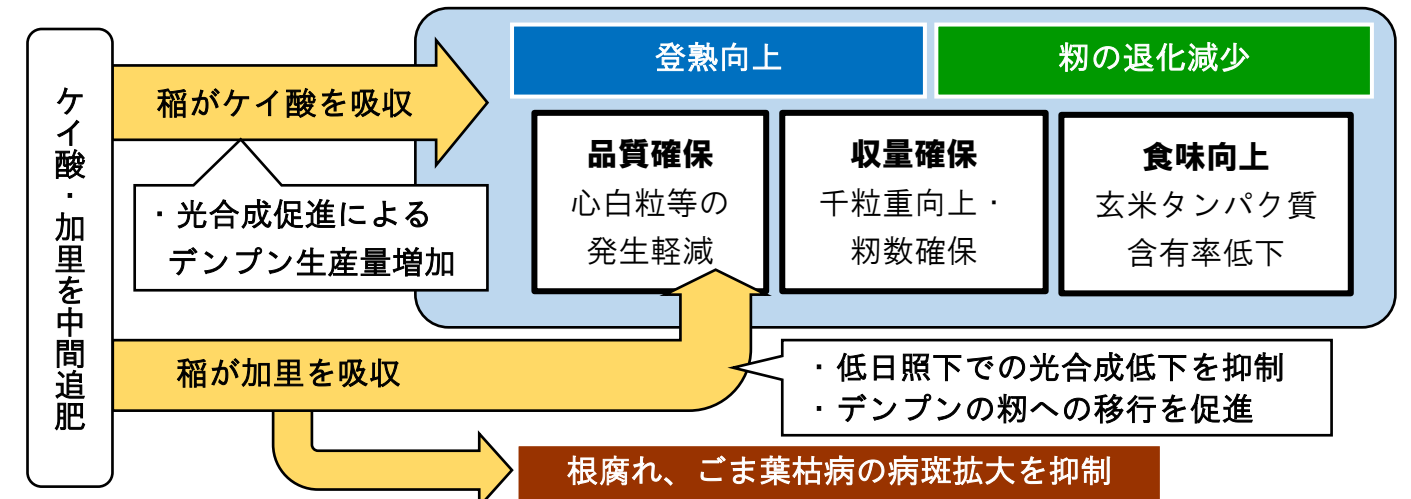
- ①カメムシが発生する5月下旬頃から、雑草が結実しない間隔(約3週間)で草刈りを継続する。
- ②地域の一斉草刈りは、6月中下旬、7月中旬(早生出穂前)の2回を基本に行う。
- ③刈取った雑草は全面着色粒原因菌の温床となるため、放置せず持ち出す。

### 6. ケイ酸・加里の中間追肥で登熟を良好にしましょう！

- ケイ酸には耐病害虫性の向上・倒伏軽減・高温障害の低減効果に加え、光合成促進によりデンプン生産量を増加させ、登熟歩合向上の効果が期待できます。
- 加里は葉で生産されたデンプンの糊への移行を促進し、低日照下では光合成の低下を抑え収量低下を防ぐほか、根腐れ・ごま葉枯病の病斑拡大を抑制する効果があります。

#### 【ケイ酸・加里追肥の効果】

稲のケイ酸吸収量は幼穂形成期以降に多くなるため、ケイ酸の中間追肥は水稻の品質・収量向上に対する効果が期待できます。加里もケイ酸とともに登熟を良好にします。



#### 【中間追肥用にオススメの肥料】

**スーパーシリカプレミアム 1袋 20kg**

☆水田環境に近いpHで溶出する高溶出のケイ酸肥料。流し込み施肥も可能！

- 保証成分(%)：アルカリ分40、ケイ酸30、苦土2
- 含有成分(%)：リン2.7、鉄0.4、マンガン0.06
- 施用方法：出穂前30～0日(6月下旬)に、10aあたり20～40kgを表層に全面散布する。

**ファイトアップ 1袋 500g**

☆発泡錠剤の投げ込み施用なので省力的！アミノ酸由来窒素・水溶性の加里を含みます。

- 施用方法：出穂前45～30日(6月下旬)に、10aあたり1袋(10錠・500g)を水田に5cm以上湛水した状態で投げ込む。

肥料農薬のお問い合わせはあぐりセンターへどうぞ！

**お米情報専用 LINE の登録はこちら**

**方法① ID 検索**

[友達追加]>[検索]で  
**@287vzxcx** を入力

**方法② QRコードを読み取る**

[友達追加]>[QRコード]で、  
右のQRコードを読み取る。

お問い合わせ《電話番号》      なんかん南宮農センター米穀課：0258-61-2903